

令和6年度先進地研修(東京)報告

新しい東京と古き良き東京を見る



5月
12日(日)



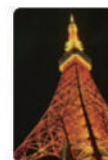
国立競技場(車窓)
オリンピックミュージアム



迎賓館赤坂離宮



東京 芝 とうふ屋うかい



東京タワー

5月
13日(月)



国会議事堂



国会議事堂にて
遠藤敏氏のお話



麻布台ヒルズ
(チームラボ・ボーダーレス)



麻布台ヒルズ
再開発事業レクチャー

5月
14日(火)



葛飾柴又(寅さん記念館・
柴又帝釈天・山本亭)



柴又帝釈天



お台場



豊洲市場 千客万来

先進地研修委員会(古下義隆委員長)は5月12日から14日の日程で、「新しい東京と古き良き東京を見る」をコンセプトに視察を実施し31名の方にご参加頂いた。

新しい東京の視察先は、昨年11月にオープンした麻布台ヒルズで、当日はプロジェクトを進めてきた森ビル株式会社の開発担当者の方から、3棟ある超高層タワーの一つであるJPタワーにてプロジェクトの経緯についてのレクチャーを受けた。このプロジェクトは約300件の権利者とおよそ35年をかけて進めてきたプロジェクトであり、紆余曲折があったようだ。実際に目にして驚いたのは、都心にありながら圧倒的な緑の多さと最先端の流行と癒やしを両立した空間を生み出されていることである。

もう一つは本年2月にオープンした豊洲の千客万来で、ここでは築地の新鮮な食材を食べることができることがあってインバウンド客で大変な賑わいであった。

一方、古い東京として遠藤衆議院議員の紹介で国会議事堂を視察し、議員会館内でDXの研修と人材不足の研修を受けた後、衆議院内をご案内して頂き、天皇陛下の控室や本会議場など日本の立法院の中心を視察した。

又、赤坂離宮迎賓館も見学し、明治42年に東宮御所として建設され日本では唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物で、当

時の日本の建築、美術、工芸界の総力を結集した建築物であり、明治期の本格的な近代洋風建築の到達点を示しています。現在では、国宝に指定され多くの国王、大統領、首相などをお迎えしたほか、主要国首脳会議などの国際会議の場としても使用されている。

最後に、「男はつらいよ」で知られる葛飾柴又の寅さん記念館や柴又帝釈天を視察し、江戸の下町を彷彿とさせる風景が広がっていました。

今回、ニューヨーク、ロンドンと並ぶ世界3大都市東京の様々な情景を視察し、東京の洗練された大都会の姿と昔と変わらない情緒溢れる姿を視察し、大変有意義な視察となった。

